



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和 8年 7月 17日

第 8 号

1 学期終業式をむかえて

「おはよう」「ありがとう」「だいじょうぶ」の3つの言葉を大切にしようと話をしてから、3カ月半。今日で1学期が終わります。

本校の通知表の名前は「あゆみ」です。子どもたちが自分の歩んできた道のりを振り返り、次の一步につなげてほしいという願いを込めています。しかし、子どもたちのがんばりや学校生活での成長のすべてを、通知表だけで表すことはできません。そこには表れない大切な成長もあります。たとえば、

- 自分にできる精一杯のことに、一生懸命取り組むことができたか
- 友達や他学年の人を大切に、相手の気持ちを考えて行動できたか

そんなことも、ぜひ振り返ってほしいと思っています。私は、始業式で透明なガラスのびんを見せながら、「なかよく見える」から「なかよくなっていく」ために大切なことを考え、行動してほしいと話をしました。6月の土曜参観では、言葉の選び方や伝え方(ちくちく言葉、ふわふわ言葉)などについて考える授業がいくつかの学年で取り組まれていました。

学校は、教科の学習だけでなく、集団生活を通して他者と関わる力や協働する力を育み、多様性を認め合いながら、協力することの価値や喜びを実感する場です。

- 「おはよう」と声をかけて、人とつながろうとする気持ち
- 互いに「ありがとう」と伝え合い、助け合おうとする気持ち
- 「だいじょうぶ」と、自分や友達を励まし、いたわろうとする気持ち



そんな気持ちを大切に過ごしていくことができたら、とてもうれしく思います。朝、元気にあいさつを交わす姿や「ありがとう」の言葉が聞かれる場面、友達を気遣う言動も多く見られました。「あゆみ」を手にしたときには、学習や生活のがんばりだけでなく、こうした心の成長にも目を向けてみてください。さて、明日から夏休みです。

夏休みは学校の友達と過ごす時間は少なくなります。しかし、この3つの言葉を届ける相手はたくさんいます。家族に「ありがとう」、地域の人に「おはよう」、困っている人や元気のない人に「だいじょうぶ」…

夏休みの間も続けてほしいと思います。そして、夏休みにしかできない体験や挑戦をたくさんして、心も体も成長した子どもたちと、2学期に元気に会えることを楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。また、ご多用の中、個人懇談にもご協力いただきましたことに感謝申し上げます。



4年 お箏演奏体験



3年図工 セロハンすかし絵製作中

地域の支えの中で育つ子どもたち

2年生は、生活科の学習「まちたんけん」で、鹿ノ台の商店街のお店や施設を訪問し、見学やインタビューを行いました。

たくさんのお店や施設の皆様にご協力いただき、お仕事中にもかかわらず、子どもたちのために一つ一つ



ていねいに説明して下さったと担任から聞いております。おかげさまで、子どもたちは、インタビューで教えていただいたことやお店の工夫について気づいたことをたくさんメモして持ち帰ることができました。

また、当日は民生委員や青色パトロール、地域安全推進委員の方々が安全を見守り、付き添っていただくことができました。

7月9日には、当日に見守りをしてくださった

方を招待して、発表会を開催しました。

発表を聞いてくださった地域の方は、「私は交番で付き添っていたのですが、交番の方のお話をしっかり理解し、今日の発表で上手に伝えてくれていました」「長く鹿ノ台で暮らしていますが、お店の工夫について知らなかったことを今日はたくさん教えてもらえました」など、インタビューを通して学んだことを上手にまとめ、発表できたことをたくさんほめていただきました。

子どもたちは、「はじめのうちはなかなかうまくできなかったけど、たくさん練習したらできるようになりました」「地域の方が見に来てくれたおかげで、発表に気合が入ってうれしかったです」と自分の努力と発表も見守ってくださる方への感謝の気持ちを伝えていました。

地域の皆様との関わりを通して、子どもたちは多くのことを学び、成長することができました。ご協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

水の事故から大切な命を守る

水泳学習日程最終日に、6年生が着衣水泳を行いました。

着衣のまま水深1mの水の中。衣服がへばりついた体は動きが鈍く、歩いたり、泳いだりすることは一層難しくなります。プールサイドに上がる時も苦勞していました。授業では、着衣のまま伏し浮き、伏し浮きから体をひねって仰向けで浮く姿勢へ、ペットボトルを抱えながら仰向け浮きの体験と練習をしました。



制帽の取り扱い 見直しを検討しています

現在、学校では制帽の在り方について検討を進めています。

昨今の物価高の影響を受け、本校の学生帽(キャップ型)については大幅な価格上昇が見込まれています。生産数の減少も背景にあり、今後も同様の傾向が続くことが予想されます。

こうした状況に加え、高学年になるとサイズが合わなくなることや、校外学習では既に赤白帽等を使用している現状を踏まえ、現在お持ちの制帽はそのまま着用していただきますが、学校としては、買い替え等による新たな制帽(キャップ型・ハット型ともに)の購入を求めない方向で検討しております。

今後の制帽の扱いにつきましては、季節や安全面も配慮しながら、子どもたちにとってよりよい形を検討しているところです。2学期開始までに方向性を整理し、改めて正式にご案内いたします。